（第三種郵便物認可　大正八年三月七日）

磐城時報

毎日一回

福島縣石城郡平町鎌屋町十
編輯兼發行人　岡田弘成
福島縣石城郡平町鎌屋町十四
印刷所　加納活版所
福島縣石城郡平町鎌屋町十四
發行所　磐城時報社
一部金貳錢　一ヶ月金壱錢
廣告料一行十二字詰五十錢
日刊（日曜祝祭日）翌日休刊

磐城共濟病院
近日愈々開業
博士級の醫師を網羅

平町磐城共濟病院は本年三月以來閉鎖中であつたが病室は勿論諸機械その他理想的の設備を有する同病院をこのまゝにしておく事は地方のため損失であると有志が再興の計劃をたてゝゐたつた、

が愈々近日磐城共濟病院として開業する事になつた先づ慶應醫大附屬病院から草刈醫學士が來り引續き博士級の醫師二名が千葉醫大、及東北醫大から來る事になつた、

遺族からの手紙で
刑事課長胸を打たる
三阪區長殺し事件

昨年十月五日夜石城郡三阪と悲壯な手紙が届いたので村下三阪地内で何者かのため刑事課長もその遺族の心に絞殺され區長派反區長派の抗爭の犠牲となつた同村區長白石清治（五四）氏の殺害事件は依然として迷宮入りを傳へられ有力なる容疑者として當局を欣喜せしめた反區長派の鈴木、永山の兩名が遂に失踪するに及んで事件が進展し縣刑事課並に所轄平署で解決に當つてゐる折最近被害者の遺族から本田刑事課長に對し新盆を迎えんとするのに未だ犯人も逮縛されない有樣では故人も冥途で迷つてゐる事だらうからどうか犯人を捕えて下さいの如くである

乞食野郎と罵られ
短腹易者憤慨
七首に手をかけたばかりに
平署に突き出さる

當時住所不定岩手縣上閉伊郡釜石町易若佐々木仁右工門（四二）は三十日夜九時頃上小川村上小川地内道路を泥酔して通行中折から通りかゝつた同村大橋金好（三九）に『乞食野郎えらい景氣だな』と言はれたのに憤慨し懷中してゐた及渡四寸余の匕首に手かけたので直ちに平署に突き出された、

仁右工門は北海道で土木

三井呉服店側の
空箱から墓口
盗品と睨んで調査

二十九日午後一時頃平町三丁目三井呉服店側に積んであつた呉服箱の中から墓口八個を發見し平署に届け出たが調べた處墓口に金は入つてゐないが深谷、馬上タキ子と刻まれた印があり盗品らしいので平署で捜索中である、

尚ほ最近同店側夜店附近にスリが横行してゐるが被害者は割烹着の婦人が多いと

明一日
米共同販賣

石城販聯の俵米定期共販賣は一日午後平町農業倉庫で行ふが相場は大体保合ひを見込まれてゐる、出荷は左會を開く

平十一俵、飯野五七、釜屋分一六〇、大野一六六、錦四七、草野信用四八、同農會二五、平窪二七

▲農事傳習會　神谷農試分場の農事傳習會は二日開く郡山本場田坂技師の講演がある

▲飯野校增築　飯野村では明一日午前九時から小學校增築に關し學務委員慰める事になり新たに捜索方針をたてる事になつた、

小名濱町の
魚市場

石城郡小名濱町では内務省築港事務所裏海岸約三千坪を埋立て同所へ町營魚市場を建設する事になり目下盛んに埋立て工事を進めてをり九月下旬までには土盛工事を完成するが引續き市場建設にとりかゝり明年度から堂々たるコンクリート建物で一ヶ年二百五十萬圓の取引をなす豫定である、町當局としては平小鐵道路線が決定すれば直ちに線外から内務省埋立地を經由して取引所に至る舗裝道路を建設する筈で、商港と漁業を有する小名濱町の最近の躍進は實に目ざしまい

▲小田炭礦總會　小田炭礦株主總會は三十日午前十時から平町住吉屋本店に開き昭和十二年度上半期決算を重役會の決定通り可決した。

▲平町の農産物　平町役場最近の調査にかゝる昨年中の農産額は米の五

勿來のチブス
愈々猖獗

既報二三日前勿來町の山間部大字部落にチフス患者八名が發生縣衛生課から清野防疫醫が出張大童で防疫陣

▲警部試驗に合格　平署巡査部長木戸幸三郎巡査鈴木恒雄兩氏は警部試驗に合格した

△蔬菜花卉一四、二七三圓△麥五、〇〇二圓△馬鈴署一、四〇〇圓等で總額七萬九千三百四十八圓尚畜産の鷄卵の一萬一千八百五圓を筆頭に十一萬五千九十一圓に上つてゐる

木戸、鈴木兩巡査

▲柴田技手講演　鹿島村久保の部落座談會は三日午前九時から開き郡農會柴田技手の講演がある

▲農業視察　大野村農會議員並に役場係員外農事關係者は二班に分れ農業視察を行つた

▲水産校生實習　四倉水産商業青年學校三年生約三十余名は去る二十五日より三十一日迄一週間漁撈實習を行ふ

▲江名映畫會　江名隣保館では來月初旬開かれる縣立主催の社會事業講習會に際し七、八の兩日映畫の夕を同町江樂館で開くプログラム左の如し

明朗日本、涙の愛嬌者、ミー坊と娘、涙の騎手、愛犬バルの手柄

▲恐喝男懲役　平町材木町無職横田淺吉（三四）は四月末内縁の妻ひさ（二九）が姙娠するや俺には子供の出來ない譯があると折檻しひさが淺吉に嫁入り前小名濱町丹野松太郎（五六）と情交あつた事實を摑み松太郎を恐喝して現金二百五十圓と四百圓の借用證書を取つた外同樣手段で二名から約一千圓を捲き上げた事件の公判は卅日平區裁判所に開き香西判事から懲役二年を言渡された

亂暴な運轉手
ガラスを壞されて毆る

小名濱町橋本馬目自動車部運轉手笠井勝（二五）は去る二十七日午前三時頃同町軌道會社運轉手片寄竹次郎（三〇）を自動車の窓ガラスをこわしたといふので憤慨し竹次郎の横面を毆り全治二週間の傷を負はせ平署に檢舉された

▲窃盗犯公判　鹿島窃取石城に入り込んだもの村箱崎市郎兵衛方外廿數件の窃盗を働らいた西白河郡吉子川生れ前科七犯塩田清美（三五）は廿九日平區で懲役三年の判決あつた、同人は十八歳の春から盗みを續け去る八日福島刑務所を出ると直ぐ歸郷隣村小野田村小學校に忍び入り腕時計を

起訴猶豫中

再び盗む

小名濱町字本町漁夫照井數馬（四七）は昨年十月九日先妻の相馬郡大甕村佐藤カネの印鑑を盗用して糯米八俵を前賣りする承諾書を偽造して原ノ町の佐藤深四郎から代金六十四圓を詐取したが起訴猶豫の恩典を言渡されたが最近再び小名濱町を中心に數件の窃盗を働いたこと平署で探知、此程送檢されたが前記の起訴猶豫中の舊罪ともに起訴され近く平區で公判開廷する

パンは
東京堂
電一〇八

海水着
水着をはじめ海水帽。浮袋。其の他斬新な用品
中野洋品店
平二・電五三

は會社!!

量目正確　配達迅速

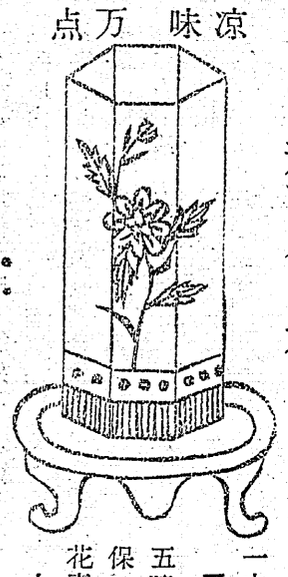
電話二二八・二二六へ

平製氷直賣部

ペチイアイス

小型花氷發賣

涼味万点



一本五十錢

五時間ハ保チマス

花臺一個十錢

贈答用ニ好適ナ三本一圓三十錢券ノ商品券御利用下サイ。

御挨拶

酷暑を迎へます折柄皆々様の御健康を御祈り申上げます。

扨て私儀水野化粧院を開催致しましてから恰度今年で七周年を迎ひました。微力の私共では到底迎へ得さる永い歳月で御座いますが、これ偏に皆様の御引立によるたまものと厚く御禮の言葉を申述べる次第で御座います。

今度これか記念ご皆々様への一層の御努めのために

オゾン理容器一臺を備へつけました

この理容器は近代美容術の機械化で御座いまして御使用後の御滿足は決して申迄もない事と固く御誓ひ致す次第で御座います。是非一度御試しあられます事をお願ひ致しますと共に七周年を迎へるに當り御贔負の皆々様分に御挨拶申上げる次第で御座います。

昭和十一年七月

平驛前

水野化粧院

主水野冬子

電話（營業所六七八番　自宅四軒町水野商店五二五番）

御得意の皆々様方に

平町字南町

根本産科婦人科醫院

根本莊次郎

根本貞雄

電話三四番

手術室完備

入院隨時

弊院儀今般都合により三丁目元郵便局裏川岸通りへ移轉仕り從前通り診療に從事仕候間右謹告仕り候

七月廿五日

田町五番地

明雲堂眼科醫院

新妻幸之助

電六六九番

食事

喫茶

酒

場

イワキ サロン

男給の店

平・田町

（電三五三）

外科・花柳病專門

入院隨意

平町六丁目

木村外科醫院

電話三〇九番

御旅行に

素晴しい乘心地の！

三五年式流線型新車を!!

是非御利用御用命の程を御願申します

平二

三井タクシー

電話六五八番

耳鼻咽喉科

大和田醫院

平町南町（電話一七〇番）

入院自炊の便あり

中野齒科醫院

院長日本齒科醫學士中野恵次

日本齒科醫學士西川誠

診療科目

一、齒科一般

保存

補綴

齒列矯正

小兒齒

齒槽膿漏

一、口腔外科

一、レントゲン科

◇看護婦至急募集

平町田町（松月堂向）

電話五〇九番

産科

婦人科

外科

藥局

入院隨意

病室完備

平町新川町十九

院長木村寅次郎

醫學博士内木宗八

藥劑師大岩俊雄

木村病院

電話一六四番

亞鉛鍍金所（メッキ）

開業

六月一日ヨリ平町字大町五番地ニ亞鉛鍍金所ヲ新設致シマシタ、何卒宣敷御引立ノ程御願ヒ申上ゲマス。

在來ノ電氣メッキ法デハナク、耐久力ノ強イ熔解メッキ法デアリマス。

主ナル漁業器具、船舶、水道、鑛山建築等デ需用鐵道、電氣等ノ諸金物其他一般雨アリ方面ハ水、鹽水、濕氣アル箇所ノ鐵材類マス

福島縣平町大町五番地（呼）電六三七番

太洋亞鉛鍍金所

所主高木秀次郎

氷は魚清!!

電話四六七番へ

平警察署通り

本店魚清氷卸部

電話四六七番

江名築港内

支店江名販賣所

◉店員至急募集

電話六十九番

産科

婦人科

花柳病科

井坂醫院

平町田町（電話五五九番）

耳鼻咽喉科專門

平田町（電六九一）

病室完備

自炊ノ便アリ

山内醫院

醫學士山内亨吉